

メールマガジン「みんなでアシスト♪」 大学生ボランティアによるコラム

タイトル:ピンクシャツデー

執筆者:上條茜里

前編:令和2年4月7日配信 第19号掲載

後編:令和2年4月21日配信 第20号掲載

【 前 編 】

皆さん、こんにちは。ボランティアとして、記事を書かせて頂いております上條茜里です。今回は、カナダで誕生したいじめ撲滅運動である「ピンクシャツデー」についてご紹介したいと思います。

ピンクシャツデーとは、2月の最終週の水曜日に学校や職場でピンクのTシャツを着て、いじめに対抗する意思を示すという運動です。

では、なぜピンクのTシャツを着る日になったのでしょうか。

この理由は、2007年にカナダのノバスコシア州にある高校で起きた、あるいじめにあります。

登校初日に日本の中学3年生に当たる一人の男の子が、ピンク色のシャツをきて登校しました。すると、彼は着ている洋服の色がピンクであったことによるいじめを受けたのです。それを高校3年生の生徒数人が目撃しました。これを受けて彼ら上級生は、自分自身を含め、他の生徒にもピンクのTシャツを買い、それを着て登校するように促したのです。その後、ほとんどの生徒はピンクのTシャツを着て、いじめを受けていた生徒にサポートの意志を示すようになったのです。

このエピソードがきっかけで、ピンクシャツデーは誕生しました。今は、カナダだけではなく、この運動は世界中、そして日本にも広がっています。今年は、この運動は2月26日に実施されました。

日本では、YMCAが2月にピンクシャツデーのイベントを行いました。2020年のピンクシャツデーのテーマは英語で「Lift Each Other Up」というスローガンです。

Lift Upというのは、持ち上げるという意味合いがありますが、この場合は、お互いを持ち上げる、すなわち、お互いを高めていくという意味合いを持ちます。さて、私たちの国はこのスローガンの目標に達する社会でしょうか。

ここで日本のいじめに関するデータを紹介したいと思います。文部科学省が2018年に発表したデータによると、学校におけるいじめの認知件数は、史上最多である543,933件であるそうです。これは、人口に置き換えるとなんと鳥取県全部の人口とほぼ同じ件数であるのです。

更に、厚生労働省が発表した2018年度のデータでは、職場でのいじめも増加傾向にあるそうです。ここから、いじめという問題は日本において、子供だけではなく大人までも取り巻く社会問題であるということが分かります。

【 後 編 】

いじめ問題はよく加害者と被害者との問題で議論されている事が多くあります。しかし、いじめの問題は、被害者、加害者、そして傍観者が関わっていると私は考えます。

いじめがある場所で起きた時、被害者はもちろん、傍観者もいじめを目撃したことによる何らかの心理的ダメージがあります。そして、加害者も何らかの葛藤やストレスを抱えている為に、他人を攻撃するという心理的背景があると思います。コミュニティの中にいる全ての人々がダメージを受けるといいういじめという行為が社会に増えることは、個人を傷つけるだけではなく、社会の成長を妨げてしまう要素でもあると思います。

いじめ問題を解決するのは非常に難しいことであると思いますが、私たちはどう取り組んでいけば良いのでしょうか。

私がいじめ防止において重要であると考える事を1つ共有したいと思います。それは、NO と言うことを実践する事です。いじめの種類は多くありますが、Nippon.comによると、日本のいじめの多くはコミュニケーション型であるということです。

集団である1人を仲間外れにするという構造が多くあるようです。とても残念で悲しい事ですが、私の大学生生活の中でもその状況に遭遇したことが何回かありました。その時に感じたのは、多くの集団の中にいる人々が同調圧力のプレッシャーにより、グループに馴染むために本音を隠して、ある1人を仲間はずれにするというパターンがあるということでした。

このパターンからわかるのは、誰も仲間外れは良くないと言わないということです。これを変えるためには、誰かが仲間外れは良くないと発言する勇気を持つ事がとても大切であると考えます。これを徐々に私たち個人で意識をして、勇気を持つ事が、いじめを減らして、更に、人々がより生きやすい社会を作る1つの方法ではないでしょうか。

ダイバーシティ（多様性）とインクルージョン（包括性）という言葉は現在企業を始めとするビジネス界でも注目されている言葉です。日本社会は同質的であるとよく言われていると思いますが、日本人の中にも多様性はあると私は考えています。私達がお互いの考えを認めて、Lift Up、つまり、高め合える時に、日本社会は子供にも、大人にとっても生きやすく、更には成長する社会となるのではないのでしょうか。最後まで読んで頂き、ありがとうございます！